

# 職人の技術・知識と若手の 新発想が融合する椅子作り

企画力  
自信有  
試作可  
小ロット



若手社員が熱心に椅子の脚作りに励む

## 業務内容 業務用椅子・ソファの 骨組みメインに販路拡大

実父の山崎勝郎現会長が、昭和47年10月に応接セット用椅子の製造で個人創業し、昭和58年10月に株式化した。バブル景気の崩壊を機に、業務用に移行し、現在は木製椅子やソファの骨組みのほか、木目を出したフレームを製造している。

平成13年に入社し、平成26年に社長に就任した山崎年庸社長は若手を積極的に採用し、デザイン提案に力を入れ、会長が持つ技術や知識と若者の新しい発想を合わせた製品作りにも力を入れている。おかげで大阪府内に限られていた取引先は、ここ2〜3年前から他府県にまで販路は拡大している。

## 強み 若い発想と熟練工の技術を 融合し、顧客ニーズに対応

木工業も高齢化により技能伝承が課題となる中、同社の社員は11名中20代が5名、30代が5名と若い点を強みとしている。現在、生産の割合はソファが65%、椅子が35%で売上高は約1億円（平成28年8月期）。山崎社長は「柔軟な発想やデザインと熟練工の技術やノウハウが融合した製品を」と若手に期待する。

さらに木目出しフレームの製造をもう1つの強みとし、毎月定期的な会議で生産や経営での改善に取り組みつつ、若手を指導し、顧客の多品種少量生産など多様なニーズに応えている。

## 独自 曲線やほぞ組加工に精通、 曲線研磨に高い技術力

一般的に直線のデザインの椅子が多い中、当社では、直線はもちろん、曲線を使った

椅子にも取り組んでいる。さらに木目出しのフレームには、釘やビスを使わない木材同士を雄型と雌型に加工して接合する「ほぞ組み加工」の技術の蓄積が不可欠だ。

加えて塗装をより綺麗にするために、鋸や鉋の刃の痕やキスをなくし、表面を滑らかにする研磨作業にも高い技術力が必要とされる。特に曲線を研磨する技術については、長年の努力だけでなく、優れた感覚も必要とされ、当社にはこの作業に優れた若手が何人もいる。

## 後の 展望 5軸制御NCルーターの 導入で売り上げ増狙う

現在、5軸制御NC（数値制御）ルーターの導入を検討しており、3次元加工により、生産の効率化や品質の向上のほか、新たなデザインに取り組み。さらに、ネットを利用して一般ユーザー向けに椅子やソファの販売はもちろん、雑貨小物にも取り組む。

すでに隣の工場を借り受けており、生産量と生産効率を高めるのはもちろん、若手を継続的に採用し、早期戦力化を図る教育にも力を入れる。これらにより、平成30年までに現在の売上高約1億円を1.5倍の1億5,000万円にすることを目指す。

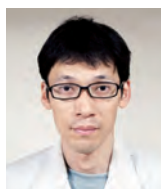


加工中の脚



骨組みができあがった製作中のソファ

## 当社の歴史



昭和47年10月に応接セット用椅子の製造で創業しました。現在は「さらなる技術の進歩とより多くの満足」を目指し、業務用の木製脚やソファを手がけています。数少ない木目出しのフレームができる企業としても存在価値を高め、若手を積極的に雇用し、販路を拡大しているところです。

代表取締役 **山崎 年庸** さん

<http://yamasaki-mokkou.jp/>

### 主な事業内容

業務用椅子・ソファの骨組みと木目出しフレームの製作

### 主な取引先(納入先)

家具卸業者、インテリアショップ

- 住所 〒574-0064 大東市 御領3-6-17
- TEL 072-871-6840
- FAX 072-871-5135
- 創業 昭和47年10月
- 設立 昭和58年10月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 11名

大阪 28